

市長から 市民のみなさんへ 23



山陽小野田市長 白井 博文

市長2年目の春を迎えました

市内各地で満開の桜が見ごろを迎えています。この広報紙がお手元に届く頃には、「市の木・市の花投票」で市の花に選ばれたツツジが桜に負けじと色鮮やかに咲き誇っていることでしょう。そして、そのような息吹の時に、私は市長として2年目の春を迎えることとなりました。

行政経験のない私にとって、市長就任当初は不安と戸惑いの連続でしたが、裁判官として生きてきた私の基本姿勢「公正公平 公明正大」と「市民参加による市民本位のまちづくり」という政治信念は、この1年、貫き通すことができたのではないかと思います。市民とともに歩むまちづくりをスタートさせるため、新たな試みとしてはじめた「対話の日」「市政説明会」「まちづくり市民会議」など、市民のみなさんのご協力のおかげで、いずれも大きな成果をあげることができました。また、最近は葉書、手紙、メールなどで市に対する陳情、要望、苦言、提言をたくさんいただくようになってきました。すべて私も目を通し、住所、氏名が明記されているものについてはご返事を差し上げるようにしていますが、多くの市民のみなさんが行政に関心を持ち始め、市民と市役所の距離が確実に縮まってきていることが実感でき、たいへんうれしく思います。

市長2年目を迎えるにあたっての今の心境は、月並みですが「気持ちも新たに、引き続きがんばっていきます。」といったところです。任期は残り3年ありますが、1年1年勝負の年とし、体当たりで改革に突き進んでいく決意です。大きな懸案事項である赤字再建団体への転落の阻止に全力を傾けるとともに、「総合計画」の策定を通じ、具体的な山陽小野田市の将来像を市民のみなさんに示す作業に取り組んでいくつもりです。

この1年、市内のあちこちに蒔かれた“まちづくりの種”は、丹精こめて市民のみなさんと育ててきた甲斐あって、発芽の時期を迎えるまでになりました。満開の桜やツツジのように、花が咲き誇るにはまだまだ時間を要するでしょうが、その日が来ることを信じて、一生懸命、日々努力精進していく決

意です。

なお、前ページの記事にありますように3月議会
で住民投票条例が可決されました。私は、市長就任
時、「将来の市の命運を決定するような重要事項に
ついては市長が一存で決めるのではなく、必ず市民
のみなさんに決定してもらいます。」とお約束しま
した。住民投票条例が市民参加のまちづくりの大き
な柱になるべきものと位置づけていたからです。


今のところは市民に直接意思を問わなければなら
ない大きな案件は想定されていませんが、将来的に
は市民の総意を最終的に尊重しなければならない事
態があるかもしれません。条例制定にあたり、関係
各位のみなさんのご尽力に厚くお礼申し上げます。

市民の手による 「市民憲章」制定がスタートしました

先日、市内の各種団体の参加、後援による「山陽
小野田市市民憲章起草協議会」が設立されました。
市民憲章とは、市民が自分たちのふるさとを誇りに
思う気持ちを持ち、そこに暮らす一員として「こん
なまちをつくらせていきたい」という想いを宣言文に
まとめて、成人式など様々な行事で唱和するものです。

新市山陽小野田市の市民憲章はまだ作られていな
かったのですが、今回、市民の中からそれを作り上
げていこうという動きがはじまりました。今回の広
報紙でも関連記事を11ページに掲載しています。

今年の秋にはまとめられた憲章を私に提案してい
ただけると聞いています。市民の心に一体感を生む
素晴らしいものができあがることでしょう。今から
楽しみにしています。



**4・5月の
対話の日**
4月27日(木) 巨西自治会館
5月25日(木) 鳥越福祉会館
※19:00から 1時間30分程度です



**4・5月の
市政説明会**
4月23日(日) 津布田会館
5月14日(日) 本山公民館
※19:00から 1時間30分程度です